

西郷

広報

10月1日

平成18年(2006)

No.430

—毎月1日・発行—

■敬老会で長寿を祝う……2~3

■日頃の体験を基に言葉の力を信じて!……4~6

Main Contents



タスキをつないで

台上で行われた第49回西白河中学校駅伝競走大会(9月7日)

健やかな笑顔
をいつまでも



健康に勝る宝無し!

平成十八年度西郷村敬老会が九月五日村民体育館で開催され、村内の七十三歳以上の方が招かれ五百二十三名が参加されました。始めに村長より「現在の西郷村があるのは、高齢者のみなさまのご努力の積み重ねの賜であります。」と式辞が述べられました。本村では、七十五歳以上の方には敬老祝い金を贈り、七十三歳になられた方には記念品八十歳には銀杯、八十五歳には金杯が贈られます。式典ではそれぞれの代表者に村長から贈呈されました。

また社会福祉協議会からは米寿をお祝いし、八十八歳を迎える三十三名を代表して和知ヒサさんに座布団が贈られ、福島民報社からは、結婚五十周年を迎えた金婚夫婦二十五組を代表して高橋喜八さんサタ子さん夫婦に表彰状が贈られました。最後に受賞者を代表して福井充夫さんが、謝辞を述べられました。



▲敬老祝い金を受けとる森 邦之さん



▲記念品を受けとる田浦イツ子さん



▲銀杯を受けとる近藤 忠さん



▲金杯を受けとる近藤キヨさん



▲座布団を受けとる和知さん



▲謝辞を読み上げる福井さん



▲金婚夫婦代表の高橋さんご夫妻

「西郷村の ママ長寿さん」

昨年国勢調査が実施され、高齢化社会が急速に進んでいることと、日本の人口が前年度と比較したところ戦後初めて減少し、出生率の低下と相まって減少傾向が続くと予想されています。

西郷村の人口は、国勢調査の結果から一万九千四百四十四人となり六十五歳以上の高齢化率も十七%と全国平均の十九・五%よりは低く、毎年ゆるやかに上昇し、高齢化社会を迎えようとしています。長寿国の日本ですが、本村にも百歳を超える方が四名いらっしゃいます。全て女性ですが、男性のご長寿さんとおわせてご紹介します。

- ・百歳以上
- 平山 ヨシさん 一〇三歳
- 足立 雅楽さん 一〇〇歳
- 櫻井 キヨさん 一〇〇歳
- 渡辺カツエさん 一〇〇歳



▲みずほ保育園児によるおゆうぎ

- 男性の部
- 細谷 佐吉さん 九十九歳
 - 金井 鉄一さん 九十九歳
 - 西坂 春義さん 九十八歳

おじいちゃん・おばあちゃん 元気で長生きしてね。

式典終了後、アトラクションの第一部では、みずほ保育園の園児による「ムシキングサンバ」のおゆうぎが行われ園児から「おじいちゃん、おばあちゃんいつまでも元気でいてください」のかけ声には、みな感激していました。

また小田倉おどり愛好会や若葉会、川藤西郷教室、スポーツ民謡愛好会による踊りが披露され、見事な踊りに盛んな拍手をおくっていました。第二部では、東しほりさんと菊池まさこさんの歌謡ショーが行われ、一緒に口ずさむ姿も見られました。



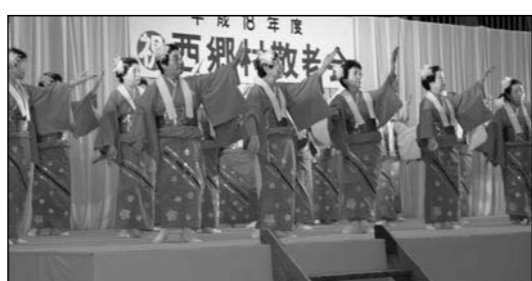
▲菊池まさこ歌謡ショー



▲東しほり歌謡ショー



▲小田倉おどり愛好会のみなさん



▲スポーツ民謡愛好会のみなさん

ども宣言を實行していますか。その中の五つ目の宣言、「感謝の気持ちを持ち人に役立つことを目標にしてがんばることが出来ます。」を見たとき、ぴったりだ！

次に、友だちのためにできることは・・・困っている友だちがいたら、優しい言葉をかけられるように心がけています。でも、自

ぼくは、あいさつの中で、「ありがとう」が大好きです。英語では「サンキュー」中国語では「シェイシェイ」ドイツ語では「ダンケ



▲表彰を受ける矢尻竜也くん

小学生の部 「ぼくにできること」



熊倉小学校六年 矢尻竜也

みなさん、「ワン フォー オール・オールフォー ワン」という言葉を知っていますか。「三銃士」というフランスの小説に出てくるのです。その小説の中で四人が友情を結ぶシーンで登場します。

と思いました。そうです、「ワン フォーオール・オール フォーワン」にぴったりだと思ったのです。それから、ぼくは、まわりの人にできることはないかと考えてみました。

次に、地域の人たちのためにできることは・・・交通安全指導員の方々、スポ少のかんどく、安全見守り隊の方々、いろいろな人たちにお世話になっています。ぼくは、元気な声であいさつをして、感謝の気持ちを伝えていきます。

「ワン フォーオール・オールフォー ワン」みなさんも好きな言葉の一つにしてみませんか？そのことを実行してみましよう。その一歩が、あいさつです。だけれどもふれあうことができる魔法の言葉、あいさつです。そして、笑顔あふれる西郷村にしていましよう。



言葉の力を信じて！

第13回 少年の主張大会

十五名が発表



八月二十六日、西郷村青少年育成村民会議主催の「第十三回少年の主張大会」が、文化センターにおいて開催されました。

この大会は、たくさんの方の夢や希望を抱いている小学生たちに、社会へ目を向ける機会を提供し、また、同世代の少年が社会の一員として自覚を持つことや、少年の健全育成に對し、一般の方の理解と協力を深める契機とすることを目的として開催されています。

各小中学校の代表者は、今

審査の結果、最優秀賞に小学生の部、熊倉小学校六年矢尻竜也くんの「ぼくにできること」。中学生の部は、西郷第一中学校三年の室井奈都美さんの「生命の尊さ」が選ばれました。

特別発表の部は、西郷養護学校高等部の小山智恵美さんが「養護学校に入学して」、西郷第一中学校の木村琴美さんが「異文化体験研修」と題しそれぞれ発表しました。

また、特別発表に村PT



▲発表を審査する審査員

の社会情勢を敏感に察知し、環境や命の大切さなど、自分の経験を通して日ごろから感じていることを素直に発表していました。

A代表として青柳博志さんが「わたしの子育て宣言」と題して、自分なりの子供との接し方や育て方の経験を基にユーモアたっぷりに発表しました。

会場となった文化センターでは、約三百人の聴衆が、十五名の堂々とした意見発表に大きな拍手を送っていました。

- ◆小学生の部
 - ▽最優秀賞 矢尻竜也 (熊倉小)・「ぼくにできること」
 - ▽優秀賞 代重千花 (羽太小)・「大切にしたい一つだけの命」
 - ▽優良賞 玉木 恵 (小田倉小)・「伝えたい！美しい日本語」 関矢愛樹 (川谷小)・「川谷から始めよう」 鳥居晴香 (米小)・「ゴミ問題について」
- ◆中学生の部
 - ▽最優秀賞 室井奈都美 (西一中)・「生命の尊さ」
 - ▽優秀賞 中川隼介 (西二中)・「早寝、早起き、朝ご飯」 斎藤奈々恵 (西二中)・「感謝に触れて」
 - ▽優良賞 鈴木香織 (川谷中)・「家族とは」 遠藤 霞 (西一中)・「心を鍛える」 鎌田景子 (西二中)・「自然と私」 仁平晶子 (西一中)・「言葉について」
- ◆特別発表の部
 - 木村琴美 (西一中)・「異文化体験研修」
 - 小山智恵美 (西郷養護学校高等部)・「養護学校に入学して」
 - 青柳博志 (村PTA 代表)・「わたしの子育て宣言」

国保と老人保健の一部が変わります

平成 18 年 10 月から医療保険が改正され、医療費の自己負担などが変わります。



主な改正は次のとおりです。

●高額療養費（平成 18 年 10 月診療分から）の自己負担限度額が変わります。

70 歳未満の者		【平成 18 年 10 月以降】	
自己負担限度額		自己負担限度額	
上位所得者 (月収 56 万円以上*)	139,800 円+ (医療費 - 466,000 円) × 1% <77,700 円>	上位所得者(※) (月収 53 万円以上*)	150,000 円+ (医療費 - 500,000 円) × 1% <83,400 円>
一般	72,300 円+ (医療費 - 241,000 円) × 1% <40,200 円>	一般	80,100 円+ (医療費 - 267,000 円) × 1% <44,400 円>
低所得者 (住民税非課税)	35,400 円 <24,600 円>	低所得者 (住民税非課税)	35,400 円 <24,600 円>

*国民健康保険においては年間所得 670 万円以上

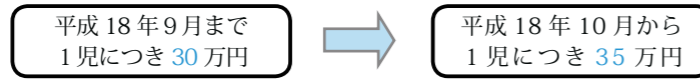
*国民健康保険においては年間所得 600 万円以上

70 歳以上の者		改正後	
自己負担限度額		自己負担限度額	
現行並み所得者 (月収 28 万円以上、 課税所得 145 万円以上)	72,300 円+ (医療費 - 361,500 円) × 1% <40,200 円>	現行並み所得者 (月収 28 万円以上、 課税所得 145 万円以上)	80,100 円+ (医療費 - 267,000 円) × 1% <44,400 円>
一般	12,000 円	一般	12,000 円
低所得者 (住民税非課税)	24,600 円	低所得者 (住民税非課税)	24,600 円
II (年金収入 65 万円以下等)	8,000 円	I (年金収入 80 万円以下等)	8,000 円
I (年金収入 65 万円以下等)	15,000 円	II (年金収入 80 万円以下等)	15,000 円

※人工透析を要する 70 歳未満の上位所得者については、自己負担限度額を 1 万円から 2 万円に改める。
(注) 金額は 1 月当たりの限度額。〈 〉内の金額は、多数該当 (過去 12 ヶ月に 3 回以上高額療養費の支給を受け 4 回目の支給に該当) の場合。

●出産育児一時金が変わります。

少子化対策の一環で出産育児一時金 (平成 18 年 10 月出産から) の支給額が、現行の 30 万円から 35 万円に引き上げられます。



●高齢者 (現役並み所得のある人) の自己負担割合が変わります。

70 歳以上または老人保健で医療を受ける人のうち、現役並みの所得がある人は、自己負担割合が引き上げられます。



■お問い合わせ 健康推進課 国保係 ☎25-1115

最優秀賞作品の紹介

中学生の部 「生命の尊さ」



西郷第一中学校三年 室井奈都美

みなさんは、障害者の人たちをどう思いますか。私は、最初とても怖いと思っていました。理解できない行動。どこでも大声を出したり、泣きわめいたり。顔つきも私たちとはちがいます。そんな彼らを、私は宇宙人のような特別な存在のように感じていました。小学生のころ、母の仕事の関係で、障害者の子たちとふれ合う機会がたくさんふえました。私より幼い子たち。私はいつしか、その子たちのめんどうを見ているうちに、

「私は、あの子たちとはちがう」という気持ちが出てきました。私は普通、あの子たちは障害者。私の心の中に小さな差別が生まれました。私は、私より弱いその特別な人たちのめんどうを見ることで優越感を味わうようになりました。そして、私は軽い気持ちで養護学

校の先生になろうと思ったのです。しかし、そんな私を反省させる出来事がありました。それは三年生で行った福祉体験です。私は、太陽の国の障害者更生施設に行きました。しかし「いつものように適当にやっておこう」と考えていた私に、すごい衝撃をあたえたのです。そこには九十九人の成人した、私よりずっと年上の障害者の方々が暮らしていました。しかも重度の人が多く、自分で生活できないような人ばかりです。トイレ、ハミガキ、食事、入浴……。私たちが普通にやっていることが何一つできないのです。すべて職員の人たちにやってもらっています。私は、それを見て、「この人たちは生きていく意味があるのかな。」と考えるようになりました。

しかし、ふれ合っているうちに彼らからたくさん学ぶことができました。何をすればいいかわからず困っていた私に「先生、先生」と話しかけてくれて、手をつないで遊んだりしているうちに、私の心の中の差別がなくなっていくような気がしました。彼らは、うれしうなときに笑い、悲しいときに泣き、嫌なことがあったときに怒る。その伝え方が私たちより下手なだけなのではないか、と思いました。誰にだって苦手なものがあります。運動や、勉強など。しかし障害者と聞いただけで、その苦手なことが目立ってしまう。これは、おかしなことではないでしょうか。長い一日が終わり、太陽の国から帰る時間がせまってきました。すると一人の障害者の女性が私の手をひいて歩きだしました。「もう帰ります。手をはなして。」彼女が私の手をはなし、館内へもどっていききました。私はなぜか涙がとまりませんでした。人に生かされてまで生きる意味はない、と思う人がいるかもしれない、と思いませんか。私はそう思いません。確かに彼らは社会的に自立出来ていないかもしれませんが、しかしそれは私達も同じなのではないでしょうか。親や友だち、地域の方々



▲表彰を受ける室井奈都美さん

。皆の協力があったからこそ私たちが存在すると思います。最近、障害者をばかにする行動や発言をする人がふえています。私はそんな人たちを見てみるととても悲しくなります。私はそのような人たちに言いたいです。「生きていてもしょうがない、誰かをそう思ってしまったらその人の命は無価値なもの。しかし、生きていくだけで素敵なことと思えたらそれはかけがえのない命となる。」と言うことを。そして少しでもいいのでこの社会から差別をなくしたいです。

JRA福島競馬場において「おもしろ夢ランド 2006 福島ビッグフェア」が8月19・20日の両日開催されました。好天に恵まれ2日間の人出は56,000人を数えました。会場には各市町村の特産品が並べられ、買い求める人の行列が見られました。広場ではゲームコーナーやお笑い芸人、中国雑伎芸術団等のショーが行われ、家族連れでにぎわっていました。

西郷村の地場産品をPR

8/20



独立行政法人家畜改良センターに海外より鶏飼養管理・生産技術研修のために訪れているバングラディッシュ、マレーシア、フィリピン等9ヶ国の女性3名、男性6名の皆さんが村長を表敬訪問しました。これから3ヶ月間、研修により技術レベルの向上を図りながら日本の自然と文化にふれて欲しいと思います。

海外研修生ようこそ

9/6



8/22

ブックスタート読み聞かせ

村中央公民館では、小さい頃から本に興味を持ってもらうためにブックスタート読み聞かせ事業を実施しており、この日は保健福祉センターで健康相談に訪れた子どもたちを対象に、読み聞かせボランティアサークル（トークベアーズ）の露木さんが絵本を読み聞かせました。子どもたちは、目をかがやかせながら絵本に見入っていました。



9/14

災害時の強い味方

災害は発生しないことが望ましいですが、有事の際に活躍する災害救助犬の競技大会が、芝原のJ K C 東日本災害救助訓練施設で行われました。犬の嗅覚は人間の100万倍ともいわれており災害時に被災者を発見するのが救助犬の仕事です。今年の4月現在293頭の災害救助犬が認定されておりますが、今回は全国からジャーマン・シェパードやラブラドル・レトリバーなど57頭の災害救助犬が参加しました。

地域の文化や歴史等を探検するために「ふるさと探検隊」を募集した結果、知りたがりやの子どもたちが大勢集まりました。今回は子どもたちが探検した軌跡をご紹介します。



7月

▲砂浜のゴミ拾いを体験（いわき海浜自然の家）



8月



◀阿武隈川の源流を探検（雌滝）



9月



◀奥甲子から道無き国道289号を経て甲子トンネルへ

すてきで、さわやかな暮らし

下水道に対する関心と理解を深めてもらい、普及促進の向上を図るために「'06 下水道ふれあいプラザ」をヨークベニマル昭和町店頭で開催しました。西郷村と白河市の主催によるもので、啓蒙チラシの配布や下水道に関する相談コーナーを設け対応しました。また子どもたちにはポップコーンがプレゼントされました。



9/10

さあ、みんなでふるさとを探検しましょう



飲酒運転は、悪質な犯罪です

最近、全国的に飲酒運転による事故が増加傾向にある中、西郷村におきましても飲酒運転による事故及び検挙者が多くなっています。

福島県警察本部の調べで、平成 15 年から平成 18 年 8 月末までの 3 年 8 ヶ月の県全体のデータによると、人口 1 万人当たりの飲酒運転事故発生率が、村の部でワースト 1 という大変不名誉な結果となりました。

酒酔い運転は、3 年以下の懲役又は 50 万円以下の罰金。悪質運転の場合は、故意による犯罪とみなし、最長 20 年の懲役の処罰となります。

また、飲酒運転は、当事者のみならず、車に同乗した人や車を運転することを知っていて飲ませた人も処罰の対象となります。

村交通対策協議会では、交通死亡事故ゼロ 2,000 日を目指して街頭指導及び啓発活動を行っております。村民一丸となって交通事故を起こさせない、飲酒運転をさせない地域づくりをしていきましょう。

西郷村シンボルスポーツ
健康ウォーキング
シリーズ⑱—
「霧降る日光ツデー
ウォーク視察」

村では、西郷村シンボルスポーツとして、村民の健康維持・増進を図る目的で、多くの事業を展開しております。また、今回は事業の一つである、各種ウォーキング大会の視察ということで、西郷村健康ウォーキング推進員の方々とウォーキング講習会参加者三十二名が、九月九日に開催された「第七回日光ツデーウォーク」を視察研修を行いました。

今大会は、約二千名の参加者が霧の降る中、国登録有形文化財の稲荷川砂防堰堤や世界遺産の二社一寺（東照宮



▲チェックポイント



▲東照宮前



▲日光霧降スケートセンター前

■お問い合わせ
生涯学習課・健康推進課

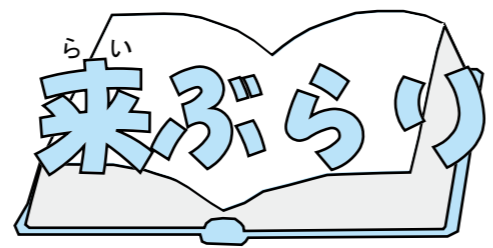
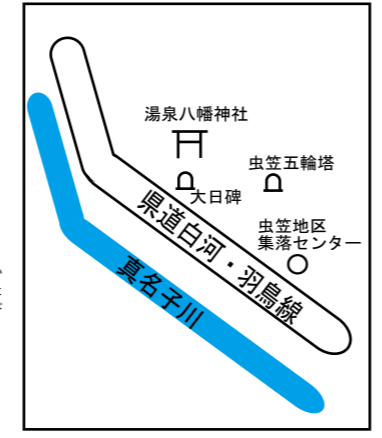


▲虫笠五輪塔 ▲大日供養塔(左・190cm)と八幡下供養塔(右・167cm)

境内に昇る石段の左側に二基の板碑があります。板碑とは板石塔婆ともいわれ、死者の供養のために立てられたものが多く、現在の卒塔婆につながるものです。多くは死者の俗名、死亡年月日、年令などを刻んだものが多いのですが、大日供養塔には、「願主浄月、左衛門二良、道替、平八」と四人の名前が刻まれています。おそらく、生前に自分たちの冥福を祈って、四人が集団で造塔したものと思われる。四人のなかには一般庶民と考えられる平八という名前が僧侶や武士の名前と一緒に刻まれています。この板碑は文安二年(一四四五)銘で、十五世紀には仏教的な思想が庶民にまで広がっていることを示す良好な資料といえます。

また、境内にある板碑はこれら二基より小さいもの(一〇一cm)ですが、永享三年(一四三二)と刻まれており、村内で最も古い石造物です。虫笠の集落内にある五輪塔は「白岩主人公」と刻まれ、正保五年(一六四八)に、故人の菩提を弔う為に、いわば墓塔として立てられたものです。『白河風土記』には、虫笠村は「白岩某、大倉某ト云フ人当村ヲ開発ス」とあり、虫笠村の開村を考えるうえで、貴重な資料といえるでしょう。

にしごうの神社
第24回 湯泉八幡神社 (後編)



西郷村中央公民館図書室だより

読書の秋です

第60回読書週間
10月27日(金)～
11月9日(木)まで

今年の標語は
“しおりいらずの一気読み”
です。

秋の夜長、テレビを消して、一冊の本をゆっくり味わってみませんか。

中央公民館図書室では、みなさんが読みたい本のリクエストを受け付けております。読みたい本が図書室に所蔵されていない場合、図書室入口にある、『購入希望図書カード』に記入してください。

また、読みたい本が貸出中の場合は、予約ができます。予約については直接窓口申し込んでいただければ、その本が返却になった場合、お知らせいたします。詳しくは文化センター窓口までお問い合わせください。

電話 二五二七五五



各課直通電話番号

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
総務課	25-1112	企画調整課	25-2943
税務課	25-1113	下水道課	25-2912
住民生活課(住民生活安全)	25-1114 25-2197	会計室	25-2934
行政サービスセンター	31-2237	議会事務局	25-2980
健康推進課(保健・国保)	25-1115	農業委員会事務局	25-2946
(地域福祉・高齢者福祉・介護保険)	25-3910	西郷村土地改良区	25-1116
包括支援センター・在宅介護支援センター	25-5121	学校教育課	25-2370
商工観光課	25-2910	学校給食センター	25-1256
農政課	25-1116	生涯学習課	25-2371
建設課	25-1117 25-1118	水道事業所	25-2962
		代 表	25-1111

●歯科医 休日当番日

10.1	小林 歯科 医院	(白河市)	☎ 28-3691
10.8	斎須 歯科 医院	(白河市)	☎ 32-4347
10.9	泉崎 歯科 医院	(泉崎村)	☎ 53-2945
10.15	酒井 歯科 医院	(矢吹町)	☎ 42-2303
10.22	たまち 歯科 医院	(矢吹町)	☎ 44-4889
10.29	佐久間 歯科 医院	(矢吹町)	☎ 44-3118

●小児科医 休日当番日 (白河地区)

10.1	関 医 院	(白河市)	☎ 23-3003
10.8	関 根 医 院	(白河市)	☎ 27-3060
10.9	樋口小児クリニック	(矢吹町)	☎ 42-2040
10.15	みうら小児クリニック	(白河市)	☎ 28-1001
10.22	わたなべ子どもクリニック	(白河市)	☎ 21-2166
10.29	岡崎小児科内科医院	(白河市)	☎ 23-7811

●内科医 休日当番日 (白河地区)

10.1	つかはら内科クリニック	(白河市)	☎ 24-1011
10.8	関 根 医 院	(白河市)	☎ 27-3060
10.9	千 葉 医 院	(白河市)	☎ 24-2080
10.15	ニューロクリニック	(西郷村)	☎ 24-4111
10.22	よこむら整形外科クリニック	(白河市)	☎ 21-1455
10.29	南湖こころのクリニック	(白河市)	☎ 23-4401

※電話案内 しらかわ救急情報センター ☎ 23-9909
(看護師が電話にて当番医の紹介や当番医以外の専門医等の紹介や場所の案内をします。)

●今月の納税

村 県 民 税 (3 期)
国民健康保険税 (4 期)
介護保険税 (4 期)
10月31日(火)までにお納めください。

※納税は便利な口座振替で

お知らせ

平成19年度検察審査員候補者(予定者)の選定

検察審査員候補者の予定者を西郷村選挙人名簿の登録者の中からくじによって選定します。
選定期間は、平成18年10月中旬から11月中旬の間で、選定された予定者の方には、通知及び資格調査票が送付されます。

検査審査会とは...

交通事故、詐欺、恐喝などの犯罪の被害にあい、警察や検察庁に訴えたのに、容疑者を検察官が裁判にかけてくれず、不起訴処分となった場合、事件の被害者等は、この不起訴処分を不服として、検察審査会に申し立てをすることができます。
このとき、その申し立てに関する処分の可否を審査するのが、検察審査会です。

■問合せ

西郷村選挙管理委員会
☎ 25-1112

第24回西郷村文化祭

- 会場 西郷村文化センター
- テーマ “2006年 拡げよう文化の輪(WA!)”
- 芸能発表会 10月15日(日) 9時～
- 作品展示の部・模擬店 11月3日(金)～11月5日(日) 9時～
※模擬店は3日のみ
- 問合せ 文化祭実行委員会(文化センター内)
☎ 25-2755

ラ・フェスタ

ミツレミア2006

- クラシックカー一二七台による1000マイルのお祭りです。半世紀以上に製造された様々なクラシックカーが西郷村を通ります。堺正章、近藤真彦、西田ひかるやパンッエッタ・ジローラモといった著名人も参加します。
- 通過時間 10月16日(月) 10時20分～11時20分
- 通過場所 県道37号線(羽鳥街道)
- 問合せ ラ・フェスタミツレミア

相 談

秋の行政相談週間

10月16日(月)～22日(日)までの一週間は秋の行政相談週間です。
この週間にちなみ、県政相談委員と村の行政相談委員の合同相談所が、開かれます。相談は無料で、秘密は守られます。
役所(国、県、市町村)や公団、NTTなどの特殊法人の仕事に関して、苦情や困っていること、わからないこと、要望がありましたらお気軽に相談においで下さい。

- 日時 10月16日(月) 10時～15時
- 場所 西郷村文化センター 2階控室
- 相談委員 県政相談委員 入谷みち子
行政相談委員 越前 六郎
- 問合せ 住民生活課(住民係)

教室・講座

ふるさと講座(第6回)

「江戸時代の諸負担
—法度と布令から—」

新そば祭り

- 日時 10月21日(土)、22日(日) 10時～16時
- 開催地 新白河ビジネスパーク(白河市白坂)
- 内容 北海道、山形、福島県のそば店・各地の物産展大集合。各地の「新そば」が同時に味わえます。楽しいイベントも行われます。
- 問合せ 県庁企画調整部総務企画グループ
☎ 024-521-7108

【刈取体験】

- 日時 10月14日(土) 9時
- 場所 体験畑 ※雨天実施
- 参加料 無料
- 問合せ 奥の細道そば紀行実行委員会事務局
☎ 32-2922
http://soba-road.com/

【粉挽きとそば打ち体験】

- 日時 11月18日(土) 9時
- 場所 白河関の森公園
- 参加費 500円(材料費)
- 募集人数 80名(先着順)
- 申込締切 11月10日(金)

平成18年度「地産地消月間」

ア運営事務局(株)フォルツァ内
☎ 03-5707-7041
10月～11月は地産地消月間です。「地産地消」運動は、豊かな自然や風土、先人が培った歴史や文化に育まれた農産物など地域の資源を地

■問合せ

域のみんなで賞味し、守り、育て、地域の活性化のために活用していく取組みです。生産者と消費者とのコミュニケーションや、顔の見える安心な食材等が利用可能などの多くの効果が期待されます。この機会に爽り豊かなふくしまを実感してみましよう。

うつくしま・みずウォーク2006 源流の郷・西郷大会

- 日時 10月21日(土) ※小雨決行 受付8時30分
- 場所 西郷村・家族旅行村「キョロロン村」
ねころぼ広場スタート・ゴール
- コース ①15㎞コース ②10㎞コース ③6㎞コース
- 参加料 予約一般500円(当日参加700円)
予約中学生以下300円(当日参加500円)
- 参加申込み 参加申込みは往復はがきにより、10月16日(月)までに福島民友新聞社事業局(〒960-8648、「みずウォーク西郷大会係」)に申込み。駐車場整理のため、乗用車利用、新白河駅からのバス利用など、来場する交通手段を明記すること。

※参加記念に「貫通石」を全員にプレゼント!!

■問合せ

福島民友新聞社事業局事業部
☎ 024-523-1334・024-523-1191
西郷村商工観光課
☎ 0248-25-2910

募 集

平成19年度保育園申込受付

- 講師 大高良元 先生
- 日時 10月21日(土) 10時～12時
- 場所 西郷村文化センター 第一研修室
- 参加料 無料
- 申込み締切 10月19日(木)
- 問合せ・申込み先 西郷村文化センター
☎ 25-2755

平成18年度飼い犬等のしつけ方教室

- 日時
 - 【第2回】 10月26日(水) 学科講習
11年1月(水) 実技講習
 - 【第3回】 平成19年2月7日(水) 学科講習
平成19年2月14日(水) 実技講習
- 各9時30分～11時30分
- 場所 福島県南保健福祉事務所 会議室
- 問合せ 福島県南保健福祉事務所
衛生推進グループ食品衛生チーム
☎ 22-5487



第48回西郷村内一周駅伝

- 保育園入園申込受付日時及び場所

保育園(受付場所)	申込受付日	時間
みずほ保育園(70名)	11月13日(月)	13時30分
まきは保育園(150名)	11月14日(火)	16時30分
社川谷保育園(90名)	11月15日(水)	16時30分

- 入園対象は、生後10カ月齢(川谷保育園は6カ月齢)以上で、保護者の就労等の事由により、家庭内で保育することができない乳幼児で、かつ、同居の親族その他の方が保育することができない場合となります。
- 現在、入園している園児の申込は不要ですが、保育園を変更したい場合には、新たに申込が必要となります。
- 申込書は、お子さまの入園の可否決定に、重要な資料となりますので、事実を記入してください。また、聞き取り調査等で事実と異なる場合は、入園が取り消しとなる場合があります。
- 申込書は、10月16日(月)から各保育園・健康推進課(保健福祉センター内)に用意しております。
- 問合せ 健康推進課(地域福祉係)

- 日時 11月3日(金) 雨天決行
- 8時 開会式
- 9時 スタート

- 参加資格 西郷村民及び西郷村に職を有する者
- ※1チーム14名(内補欠2名)としてチームを編成する。
- 参加料 小・中・高・女子 2,500円
一般 3,000円
- 募集期間 10月3日(火)～13日(金)
- 問合せ・申込み 生涯学習課(体育振興係)

試 験

自衛隊生徒

- 採用予定人数
 - ・ 陸上自衛隊 約250名
 - ・ 海上自衛隊 約50名
 - ・ 航空自衛隊 約50名
- 応募資格 平成19年4月1日現在、15歳以上17歳未満の者。中学校卒業又は、中等教育学校の前期課程修了者。

- 受付期間 平成18年11月1日(水)～平成19年1月9日(火)
- 採用試験日及び場所 平成19年1月13日(土) 白河地域職業訓練センター
- 問合せ 自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所
☎ 24-0372
住民生活課(生活安全係)

● 善意
ありがとうございました。

◎ 西郷村に寄付された方々をご紹介します。

▼ 鈴木一朝さん 【柏野】
(8月21日、故父鈴木広義氏の遺志による西郷村社会福祉事業のために) 一〇〇,〇〇〇円

▼ 日本伸管株式会社
代表取締役 細沼哲夫氏
(8月28日、西郷村教育推進事業のために) 一〇〇,〇〇〇円

▼ 日本工機株式会社
代表取締役社長 中山弘道氏
(8月28日、学校防犯対策のために) ネットランチャ― 十二台

発売期間 9/25～10/13
お買い求めはお早め!!
1等前後賞合わせて 2億円
この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

行事

2006年10月
October

カレンダー

●今月の顔

1歳6ヶ月児・6歳児歯科クリニック(8/30)
に来ていた子どもたちです。

日	月	火	水	木	金	土
1 さわやか直売所(9:30折口原農協精米所前)あぶくま水の郷スポーツ大会(9:00村民体育館) 	2 	3 老人クラブグラウンドゴルフ大会(8:30村民野球場)	4 ポリオ予防接種(13:00保健福祉センター)寿学級(10:00アクティブセンター)	5 ポリオ予防接種(13:00保健福祉センター)まきば保育園親子遠足(8:30おもちゃ博物館)	6 	7 金沢杯県南中学校ソフトテニス大会(8:00西一中テニスコート)食育講演会(13:00文化センター)健康体操教室(10:00文化センター)
8 さわやか直売所(9:30折口原農協精米所前)村立西郷幼稚園運動会(9:00幼稚園庭)	9 西郷フレンドリーカップ児童ソフトボール大会(7:45米多目的グラウンド)	10 母子手帳交付日・健康相談(13:00保健福祉センター)心配ごと相談会(13:00高齢者生活支援センター)	11 	12 おひざにだっこのおはなし会(10:30文化センター)	13 3歳児健康診査(13:00保健福祉センター)	14 西郷村地場産業商工祭(8:45文化センター駐車場)ふるさと探検隊(9:00プリティッシュヒルズ)
15 さわやか直売所(9:30折口原農協精米所前)西郷村文化祭芸能発表会(9:00文化センター)	16 	17 	18 6~7ヶ月児健康相談(9:00保健福祉センター)赤ちゃんの子育て講座(13:30保健福祉センター)民協定例会(13:00高齢者生活支援センター)	19 	20 茶道教室(0:00村立西郷幼稚園)芸術鑑賞教室(川谷小学校)	21 みずウォーク源流の郷西郷大会(8:30キョロロン村受付)松の木祭(川谷小学校)ふるさと講座(10:00文化センター)
22 さわやか直売所(9:30折口原農協精米所前)西の郷ロードレース大会(8:30村民野球場)	23 母子手帳交付日・健康相談(13:00保健福祉センター)	24 	25 歯科クリニック(幼児13:00,6歳児13:45受付保健福祉センター)心配ごと特別相談会(13:10高齢者生活支援センター)	26 	27 1歳6ヶ月児健康診査(13:00保健福祉センター)親子観劇会(13:00村立西郷幼稚園)	28 
29 	30 みずほ保育園焼き芋会(9:30みずほ保育園庭)生命の貯蓄体操(13:30保健福祉センター)	31 配食サービス(8:30保健福祉センター)みずほ保育園リンゴ狩り(9:00久田野)ともだちひろば(10:30小田倉児童館)	31 	31 	31 	31 

★県南地域の主な行事です(NPO法人カルチャーネットワーク提供)

- ・10/1 サイクルフェスタ イン白河2006(泉崎村国際サイクルスタジアム9:30)
- ・10/1 あそびの学校「間伐材を使った森のクラフト」(ジャスコ白河西郷店13:30)
- ・10/8~9 全国ラーメンフェスティバル in 白河(JR白河駅西側イベント広場10:00)
- ・10/9 スポーツフェスティバル(白河市中央体育館8:00)
- ・10/15 家畜改良センターふれあいまつり(家畜改良センター10:00)
- ・10/21 出逢い&ふれあいの会 Part2(鮫川村「鹿角平観光牧場11:30)

誌上天然色作品展

(村内の小・中学校の児童や生徒のみなさんの作品を紹介しています。)

図画

「貝がらと砂絵」



小田倉小学校二年
竹内まり



担任の青木洋子先生から一言

海で拾ってきた貝がらと砂で描かれた作品です。貝がらの形をうまく利用し、細かい所までいいねいに仕上げられています。

詩

「友達っていいもんだ」



小田倉小学校六年
保坂流星

友達っていいもんだ。
ぼくが、悲しい時
元気を少しわけてくれる。
友達っていいもんだ。
ぼくが何かを
迷っている時
助けてくれる。
ただ近くにいるだけで
安心できる。
友達・・・
こんどは、
ぼくが友達を
助ける番だ。

担任の八巻理佳子先生から一言

「友達っていいもんだ！」友達思いで友達が大好きな流星君らしい詩ですね。みんなも流星君が大好きですよ。

書

「安心」



小田倉小学校四年
川野まき



担任の渡辺恭子先生から一言

七夕展で銀河賞を受賞し、自信をもったのびのびと書いています。字形に注意して、きれいな線で書くことができました。